

去る三月末の降雪凍霜による農作物の被害に対しは、自己に都において是適切なる対策を着々として進められる。ある趣向に堪えないとところである。

被害の実態は順次明らかにされつゝあるが、都下の被害は依然として大きく、政府の公表数字においても全国的に最も激甚地帯であつて、われわれの希求にもかゝわらずその全面回復は望むべくもない。

農業会議としては、去る四月八日関係機関団体と相談り、被害対策に關し政府並びに国会に対して要望する一方、農政施策に対する農民の意見を積み上げ、その世論の形成に呼応し、こに具體的に降雪、凍霜被害に関する諸対策を提案いたしたい。

既に御苦心の如く、近時青果物を始めとして、畜産

一、農業共済金の概算払早期実施
記
物等農産物価格の下落傾向による農業の不安、農政の不信は今日ほど甚だしいときはないといわざるを得ない。

このさい東京都におかれでは都下農家未占有の被害に對応し、抜本的な施策を実施し、以て農家経営の安定をはかり、農政の確立をはかるべきである。

右建議する。

物等農産物価格の下落傾向に直面し、農業の不安、農政の不信は今日ほど甚だしいときはないといわざるを得ない。

このさい東京都におかれでは都下農家未占有の被害に對応し、抜本的な施策を実施し、以て農家経営の安定をはかり、農政の確立をはかるべきである。

降雪凍霜害

対策に関する建議

京都土地改良だより

所行發

東京都土地改良事業団体連合会
会長 鈴木義顕
会員区 内田千代
会員 東京印刷株式会社
会員 青木茂雄
会員 幸栄堂印刷人
電話 (83) 9446, 4505番

惠をうけるよう特に措置すること。
3 被害の帰属に對応し、かねて罹災による人心の刷新を図る等農政の実をあげる必要がある。當資金枠を拡大し、これによつて農家経営安定の途を講ずること。

4 自作農維持資金の枠の拡大

3 罷災農家の經濟再建における農業協同組合の役割は極めて大きい。災害克服のため迅速且つ適切に肥料と病虫害防除薬剤費の助成

4 有楽町エーワン会議の決議を行つた。

3 海老原課長、連合会より林参事出席
27 京都農業会議第二回総会開催され、林参事出席

1 農業共済組合連合会
仮払資金のつなぎ融資
2 共済組合、同連合会の事業拡大に伴う運営事務費の助成
3 一割削減払を解消するため、共済組合手持保険料不足分の助成

二、再生産確保のため長期低利営農資金の融通

現行の支払共済金は余りにも僅少であつて、超異常災害による被害金額には遠く農業経営資金の不足は甚だしいものがある。殊に農家経済の現状においては、長期の低利資金によらねば投資はでき難いところである。

よつて左記により再生資金の確保を図る必要がある。

1 災害法に基く融資は特別被害農業者に対する融資程度に利子補給を実施すること

4 15、16、両日に亘り日本青年館に於て、農林漁業団体職員共済組合制度の公布に伴い、関東一大陸九県、都県団体中央会事務主任、参集の上

4 15、16、両日に亘り日本青年館に於て、農林漁業団体職員共済組合制度の公布に伴い、関東一大陸九県、都県団体中央会事務主任、参集の上

4 17、18、南、北、西多摩郡の土地改良現地調査、連合会発足に伴ふ挨拶を数出席された。

4 19、江戸川区、葛飾区、荒川区の各郡の主要市町村を巡回した。林参事

3 22、足立区六町外二ヶ町農耕地約五〇町歩に至る土地改良事業の説明
4 28、おいて土支田町外一ヶ町歩の土地改良事業施行に關し説明会を開催

4 28、おいて土支田町外一ヶ町歩の土地改良事業施行に關し説明会を開催

5 7、板橋区豊蹊小学校にて土支田町外一ヶ町歩の土地改良事業施行に關し説明会を開催

5 17、都議会議事堂において永年土地改良事業

4 27、有楽町エーワン会議の決議を行つた。

4 27、有楽町エーワン会議の決議を行つた。

3 27、海老原課長、連合会より林参事出席

27 京都農業会議第二回総会開催され、林参事出席

連合会日誌

1 区市町村の麦種子需給計画の樹立実施に要する経費の助成

2 激甚な被害農家に対する麦種子の補給

3 22、東京都内田秀五郎昭和三十三年五月二十九日安井誠一郎殿
東京都知事

5 7、田代重一郎昭和三十三年五月二十九日安井誠一郎殿
東京都農業会議会長

5 17、宇賀田拔師、連合会鈴木会長、林参事出席

5 17、宇賀田拔師、連合会鈴木会長、林参事出席

5 15、都議会議事堂において永年土地改良事業

4 15、都議会議事堂において永年土地改良事業

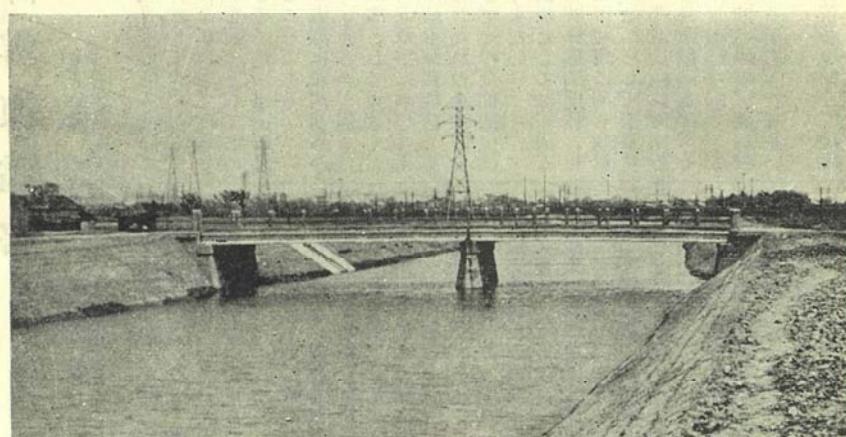
3 27、海老原課長、連合会より林参事出席

27 京都農業会議第二回総会開催され、林参事出席

この事業は昭和32年度の都営毛長堀排水幹線改良事業として実施したもので、排水路の延長 377m (上巾 26m 底巾 18m 高さ 2.60m) 橋渠 (谷塚橋長さ 24m 有効巾負 4.5m) 1ヶ所事業費 16,430,000円を要した。

これにより排水路の計画延長 5,800mの中 3,050 m が完成し、年々完成に近づくこの事業に対し、地元関係者からは絶大な効果の期待をよせている。

完成した排水路と谷塚橋



六月四日朝と午後二回、東京地方はにわか雨がバラついたが、雨量はわずか〇三ミリとほんのおしめり程度。水キキンはまだまだつきそうで、気象庁では同日午後「今月末迄本格的な雨は期待できない」と渴水情報を発表した。農家は田植をひかえて赤信号をかゝげている。

今年は春になつてから関東、東北地方を中心には干ばつが続いており、東京の三月から五月までの雨量が平年四九パーセント、春の合計雨量としては明治三九年以来の記録的な異常乾燥になつていている。五月末にな

る」と例年ならシニのはしりになるのに今年は下旬に入つて気温が昇り五月三十、三十一日にかけ関東地方から西日本は各地とも観測開始以来の最高温度をマークする異常ぶり、五月二十五日から六月三日までの連続十日間、東京には一滴の雨も降らなかつた。

これから見通しは七日から十日にかけて雨が降る見込みだが雨量はあまり多くなさそう。今月後半には

ユーラしくなる見込みだが雨量は今後もなお少ないおそれがあるという。

三多摩方面の水田地帯においてはこの異常渴水に対

異常渴水まだづく?

整地会開催

五月の風かほる新緑の熱海温泉、保養館において五月十七日整地会を開催した

整地会とは東京都整地課時代に勤務した人達の集ま

りで当時の整地課長山田稔氏を会長とし三十五名の会員を持ち、会員各位の親睦を深めると共に互の近況を語り合うもので、当時の耕地整理法の供養も合せ行い

る。幸ひ六月八日から九日にかけて、二〇ミリの待望の雨が降つて、一せいに田植が始まつたが、然しそれではまだ十分とはいえないのだけ有効に利用する様心がけねばならないことは、勿論だが、折角取入れた用水は、必ず流出させない様十分管理につとめねばならない。

それで、まだ田植が終らないところが少くない。従つて今後の降雨に対する出来るだけ有効に利用する様心がけねばならないことは、勿論だが、折角取入れた用水は、必ず流出させない様十分管理につとめねばならない。

尚当日の出席者左記の通り(敬称略) 今回は特に副会長の川名進一氏(現熊谷組理事)のアメリカに於ける農業土木事業を視察され五月八日帰朝されたので、その報告を聞き泉都熱海の夜のふけるまで語り合ひ、翌朝解散した。

都に於ける霜雪害対策

目 下 檢 討 中

三月下旬都下一円を襲つた雪害、凍霜による災害対策をたてるため、都は五月はじめ、経済局を中心とした農作物災害対策連絡協議会を設置、融資などを検討して、いるが六月中旬頃までには具体的な融資策が決定する見通しである。

都経済局が五月五日現在で調べたところによると被

害額は米が約八億六百八十万円、野菜類などは一億九千三百十九万二千円、合計十億一万九千円。現在経済局でたてゝいる方針は救済は見舞金などの方法をとらず、再生産のための資金を貸付けようといふもので、融資総額は振興資金其他で大体一億二、三千万円に落付く見込みとい

われている農民は今度の救済の方法が、再生産のための貸付資金であるということが十分認識して、善処せねばならない。

従来とられて来た救済とは異り工事に対する補助金ではなくて、借入金であることを忘れてはならないのである。

山田稔、川名進一、鈴木義顯、難波武夫、栗田礼藏、斯井宇一、丸岡信、武井鉄寿、川上金平、西村寿郎、児玉周二、飯沼長治、堀友之進、大森助二、佐藤信衛、亀田熊市、芳野民雄、上原嘉太郎、蔭山忠藏、大岡弘以上二十名

×

×

×

土地改良より

(3) 昭和33年7月1日

暗渠排水事業完備

世田ヶ谷区岡本鎌田町

—進む白子川沿岸区画整理事業—

農地の暗渠排水完備を積極的にすすめている世田谷区岡本、鎌田町では昭和三十二年度事業として多摩川沿岸の水田約十七町歩を二毛作田とするため、先ず約十町歩に工事費三百五十万円で暗渠排水工事を完成したが、今年度も引き続き約七町歩暗渠工事を行うことになった。区では土地改良区の計画完成をまつて、農業対策振興会に諮り、助金の交付額を決めるか昨年同様に工事は農閑期に実施される。

この工事完成によつて、来年度は同地域から米、二四石、麦九六石の増収を見込んでいる。

この世田谷区岡本、鎌田町の水田は以前から六郷用水が流れているが、この用水は高いところを流れ、そのため、地下水位が高く、肝心の用水路も曲折が多いので、田地は湿地、半湿田の状態を呈して地力が低下し、生産量も減少気味であった。このままでは年々衰微するばかりと地元農家が土地改良事業を起して、一挙に

完全な二毛作田とするため、暗渠排水事業の計画を立て補助金を得て昨年から工事に着手したのだが、地域内に七本の幹線暗渠(三一六寸)を設け、その支線暗渠にも三寸水管を用いるなど、完全暗渠方式を採用し水闇にもコンクリート水闇にするという完備したものである。

会長 鈴木義顕

表彰さる

東京都表彰規則によつて昭和三十三年五月三日、東京都都議会議事堂に於て東京都土地改良事業団体連合会長

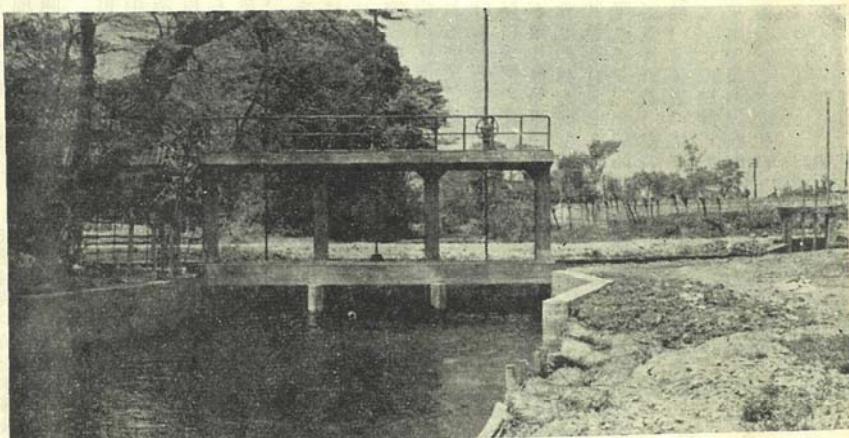
鈴木義顕

右は多幸にわたり農会長耕地整理組合長、板橋区下赤塚町二二九七事績概要是次の通り

この事業は昭和32年度の都営土地改良事業として事業費 1,260,000円をもつて竣工したもので在来の人力による角落余水吐を取り壊し、新に単動捲揚機による樋門を3基設置した。

これにより豪雨時に埼玉県側から葛西用水を満流々下する悪水を、迅速、容易に六ツ木排水場に導き得るので、足立、葛飾両区内の農地は水害の難るら完全にまぬかれ、排水設備は完璧を期し得たものである。

完成した六ツ木排水場附帶余水吐工事



この二つの地区は練馬、板橋区共に最後に残された水田地帯の区画整理であり地元関係者区役所に於ける意気込みはなかなか大きいものがある。

簡単に地区の様子を説明をすると「土支田地区」は丁度大泉土地改良区の下流部練馬区と埼玉県大和町にまたがる十町余の水田であるが、少くとも両都県にまたがる土地改良区で、建設局の改修事業と併行して

武藏野台地の東縁右神井川、白子川の浸食谷に形成された水田地帯は二百町歩近くに及ぶ。都市の急激な発達にともない住宅地帯として附近は開発されているにかららず、近年迄それ等は往古の姿そのまゝその風情をとどめていたが、先に報じた様に石神井土地改良区(五十町歩)大泉土地改良区(五十町歩)の事業が終り、今、白子川沿線にて上支田地区と、成増地区に土地改良区設立準備が急速に進められ、首都圏にふさわしいグリーンベルト地帯の体制を固めようとしている。

「成増地区」については昭和二十六年白子川改修事業と併行して実施しようとしたが、申請人加藤八十八氏話が持上つたが、期末大熟せぬ感があり中止になつていた地区である。白子川の最末端新河岸川との合流点附近五十町余の集団地帯であるが、地区内幹線道路四米がわづか一本あるのみで機械化された現在、除虫作業にもことかき、周囲水田

が全部区画整理され、虫害防止が完全である為、この地区に虫が集ると云う現象が起り、どうしても整理せねばと申請人、田中浅右衛門、榎本喜一氏等が、立ち上り、来冬事業実施を目指に計画を進めている。

この様にして、両区の水田地帯の土地改良は、一応終止符を打つ事になるわけで、都農地課団体営土地改良係でも、この阿土地改良区の設立には、大きく支援を行つてゐる。

練馬・板橋両区の未整理水田地帯解消か!!

多摩土地改良

事務所を訪ねて

九市三多摩全域の土地改良事業の推進に当つては、多摩土地改良事務所を一日御訪ねして所長から現況と本年度の事業計画について色々と伺つたので紹介することとした。

改良事務所は昨三十一年度に事業の強化を計るため、職員を増強せられ所内の編成の一部に改編増強を行つて調査事業の委譲によつて事業は相当増加を見て活況を呈している。本年度は其の第二年度として、都営土地改良事業をはじめ農地の改良、開発、保善、並に集團化について推進を図つているが、近時都市の急速の膨脹發展に伴い農耕地面積は年々縮少され、都市的設備の分敷等によつて、農業生産基盤の整備改良事業は年々高まり農山村振興対策と相まってかんがい排水をはじめ漸く土地改良事業の推進は指導の必要は益々その重要性を加えている。

昭和十三年当時局匡救事業として、実施せられた各種重要農業施設もその耐久年限に達したのであるが昭和二十三年以來うちつゝ災害による被害のため、

災害復旧事業として復旧せられ全く其の面目を一新せられた視があるし、なお多くの未改良施設は放置せられ、土地改良事業実施の要望は熾烈にして本年度に於ても、都費単独土地改良事業希望地区は実に八一地区二〇〇万円、團体営土地改良事業費五、五〇〇万円に達し、更に小団地開発整備事業について、一五地区二二〇〇万円、五〇〇万円に達している。

又、秋留台地畠地かんがい事業計画もその要請に応ずる一部にして昨年に引き続き、新規地区として村山町、五日市町、日の出村に於て実施中にして、本年度は一筆地調査を実施するところ、新規地区として村山町に於ても着手の段階となり、本事業は行政的にも技術的にも幾多の困難を伴う事業であつて、再三の指導推進には多くの努力を要することになる。

失業対策農業土木事業は失業者発生の状況に応じて実施せられる事業であるが最近に於ける雇傭状況の推移、或は経済事情の変動と共に、此事業の性格も單なる失業者救済の域を脱して導援助の要請が次第に強くなつてゐる。また、小規模都営土地改良事業として大丸、日野用水は改築事業は昭和二十三年を契機として、国庫補助を得て、これらの事業として、撰択条件にみたない多くの狹少

面積の多摩沿岸の水利組合は、近時河底の低下等によるかんがい水の涸渴、或は取水困難の実情を訴え、これが対策として、北区の総合土地改良区の設立等の指導が行わると共に取水計画の抜本的方針樹立に必要な調査が行われている。

又昭和三十二年度より十ヶ年計画をもつて国土調査法による地籍調査事業は、秋留公地開発事業調査の一環として、昨年度より秋留町、五日市町、日の出村に於て実施中にして、本年度は一筆地調査を実施するところ、新規地区として村山町に於ても着手の段階となり、本事業は行政的にも技術的にも幾多の困難を伴う事業であつて、再三の指導推進には多くの努力を要することになる。

農家の方はうつかり知らないと大変です。一例をキニウリにとりまとすると、

東京都土地改良事業団体連合会は次の事業を受託いたしました。

◎ 土地改良事業の調査測量設計、かんがい排水、畠地整理、暗渠排水、客土、区画整理、農道等の新設改修、その他土地改良工事の監督指導、經理事務の指導援助

◎ 土地改良区の設立に関する一切の業務助成

◎ 災害復旧工事の調査、測量、設計申請に関する業務の助成

◎ 区画整理、換地処分より登記申請、解散に至る迄の業務助成

◎ 地籍調査の委託、筆地調査、地籍図根三角測量、地籍図根多角測量、地籍細部測量図及び地籍簿の作成六工程

◎ 農林漁業資金の借入業務このほか、土地改良業務に関する總ての御相談に応じます。業務は本会の「受託規程基準」により実費程度で受託しますから、委託希望者は本会にお申込み下さい。職員が出席し経費の見積その他の御相談に応じます。

東京都土地改良事業団体連合会 東京都千代田丸之内三ノ一 東京都府経済局内 電話直通(20)四五九七番 五一一と五一九番 内線五六九番

三町村を対象として、地区路三三件、その他整備事業数一二二二地区、工種別に見六件にして、毎月八八の人次に三十三年度事業予定

る、農道八三件、用排水の失業者が救済せられて

いる。これを示せば、

事業の名称

予定地区数

本年度予定事業

都営土地改良事業	三	二〇、〇〇〇、〇〇〇円
団体営土地改良事業	三	四、七四〇、〇〇〇円
災害復旧事業	九	三、四〇〇、〇〇〇〇円
都営单独補助土地改良事業	二六	一七、〇〇〇、〇〇〇〇円
秋留台地畠地かんがい事業	四	四、〇〇〇、〇〇〇〇円
失業対策農業土木事業	一四一	一四一、〇〇〇、〇〇〇〇円
新農山村漁村総合対策事業	未定	未定